

会議録

会議の名称	平成24年度 第6回西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成25年3月6日（水曜日）午後1時15分から
開催場所	西東京市保谷保健福祉総合センター6階 講座室1
出席者	石田会長、永田委員、新倉委員、平田委員、小林委員、高梨委員、池田委員、高西委員、高橋委員、大堀委員
議題	1) 第5回議事録について 2) 各計画等の進捗状況について 3) その他
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 西東京市健康づくり推進プラン（行政の施策目標）進捗状況管理表（平成16年度から23年度） ・資料2 食育推進の基本目標と指標 ・資料3 基本目標と施策内容の進捗状況および評価 ・資料4 食育に関するアンケートについて ・資料5 健康事業取組みイメージ図
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会 会長より挨拶 事務局より資料確認、傍聴人報告、欠席者の連絡</p> <p>2 議事 (1) 第5回議事録について 平成24年度第5回西東京市健康づくり推進協議会事録（案）について確認後、承認された。</p> <p>(2) 各計画等の進捗状況について ア 西東京市健康づくり推進プラン（行政の施策目標） 事務局より資料説明（資料1）</p> <p>○会長： 2頁の大腸がん要精検者受診率の進捗状況だが、ほとんど上がっていないので進捗状況は「やや遅れている」ではないか。</p> <p>○事務局： 計画策定時の基準値（27.7パーセント）と比べて上がっているので「ほぼ順調」としている。</p> <p>○会長： 平成13年度の数字は15年度以降とは違うので、あまり参考にする数字ではないと思う。平成15年からほとんど変わっていないということは、あまり進んでいないのだろう。受診率が50パ</p>	

ーセント未満という数字は低いので、70 パーセントくらいまで上がるような方策を検討してほしい。

11 頁「健康づくりの関する自主活動を行う意欲ある市民に対し適切に情報提供が行えるよう、」とあるが、未実施が続いている理由は何か。

○事務局：

市が育成している自主グループは把握しているが、地域で主体的に活動しているグループは把握できていないため、未実施としている。

○会長：

情報提供はしているのか。活動グループを把握しないと、周知程度もわからないので、何らかの方法で把握できないだろうか。

○事務局：

情報提供はできている。西東京市市民協働推進センターゆめこらぼに登録している自主グループがある。ただ健康づくりに限らない自主グループの活動団体だ。ゆめこらぼの登録団体の集まりに向いて情報を提供しているが、健康づくりの活動団体の環境ベースはまだできていない。

○会長：

今後はぜひ把握してほしい。

4 頁の特定保健指導の実施率について。実施率は上がってないので、進捗していないのだと思うが、何らかの施策や方法を変えるなど具体的な案はあるか。

○事務局：

特定保健指導の対象者には勧奨を 2 回しており、さらに今後は電話勧奨もする。3 回目として直接の声かけを考えている。毎年同じ対象者が引っかかるが、特定保健指導経験者の中には「一度受けたからいいだろう」と自己判断してリピートしないため利用率が下がっている。新しいプログラムを入れて、魅力ある特定保健指導を提供していきたい。

○会長：

特定保健指導はどこが行っているのか。

○事務局：

外部委託をしている。

○委員：

特定健診については、同時期に特定健康診査等実施計画を見直し策定している。そろそろ問題点や課題整理が終わり、次年度計画に入るところだろう。方針などはホームページで公開される。

○会長：

保健指導があれば健診につながるので、効果が上がってほしい。

○委員：

大腸がんの検査だが、がん患者数は増えている。

○会長：

患者数は増えているが、要精検者率が低い。未受診者が多く、受診の増加方法を考えているが

なかなか上がらない。受診率が70パーセントになれば、がんの発見につながると思う。

骨密度の健診だが、こちらもあまり上がっていない。受診対象者は40歳～70歳だが受診率が少ないので、もう少し増えてもいいのではないか。それともどこか他で受けているのだろうか。

○事務局：

市民の関心から言えば、70歳以上の人は関心が高く、若い人の受診が少ないことが現状だ。

イ 食育推進計画

事務局より資料説明（資料2、3、4）

○委員：

野菜たっぷりカレンダーはどこに配布されているのか。学校などだけで、個人宅への配布はないのか。

○事務局：

配布は学校施設のみで個人宅への配布は行っていないが、公共施設には掲示している。毎回、子どもから野菜のイラストを募集して作成している。予算の関係上、あまり多くは作成できないが周知方法を検討したい。

○会長：

食育に関するアンケートだが、回収率が大幅に上がった理由はなぜか。

○事務局：

今回は計画策定にあたり協力をお願いした。今回は食育を各学校で取り組んでいることもあり、学校としてもデータをほしいという強い思いもあって、積極的に回収してもらえたようだ。

○会長：

資料2の「朝食をほぼ毎日食べる人の割合」が減っているが、朝食摂取は減少傾向にあるのだろうか。

○事務局：

学校では朝食摂取の取り組みを進めているが、家庭の生活状況によっては推進しにくい家族環境があるようだ。ただ小学生はほとんどの子どもが朝食を摂っている。学年が上がると欠食が増える傾向だ。

○委員：

学校での食育は定着している。小学生では朝食を摂取して登校する子どもはほぼ100パーセントだ。ただ共働きが増えており、保護者が朝食時にいない家庭も増えてきていることは不安要素だ。

○会長：

中学生で朝食の摂取が減るのは受験などが原因だろうか。

○委員：

中学生はさまざまだろう。ダイエットなどを考える子どももいる。

○会長：

資料2の2頁「食育・地産地消推進店」認定件数について。未実施となっているが、どういうことを実施しようとしているのか。

○事務局：

当初は野菜を扱っている推進店を作り広めようという考えがあったようだが、その頃とは違った形の推進方法を担当セクションで検討しているところだ。

○会長：

推進店の出店はなしということか。

○事務局：

推進店という形は変わるようだ。ただ計画変更の際には整備することもあり、同じ名称で推進していくかは不明だが、地産地消を推進していくことに変わりはない。

○事務局：

農家から恒常的に一定量を提供できるようにするには、生産と購買のバランスが課題だ。

○会長：

確かに地元産のものが必ずしも地元で消費されるとは限らないだろう。

○事務局：

生産者と消費者のニーズがうまく合わないので、違う形での推進となる。

ウ 健康都市宣言

事務局より資料説明（資料5）

○委員：

25年度のイメージ図だが、運動、食育、休養、創造を包括したものが健康事業だと思うので調整が必要ではないだろうか。健康都市宣言のイメージだとすると事業は4つなので、整合はどうなのだろうか。

○事務局：

5つの項目について事業展開していきたいというイメージだった。表現については改めて検討したい。

○委員：

健康宣言の4つにして、全体的に健康づくり事業としたほうが分かりやすいと思う。

○会長：

全庁的な推進方法の検討とあるが、実際には庁内にはどのような課が関わるのか。

○事務局：

健康に関する取り組みに関わる課が全てなので、企画、福祉、産業振興、教育、スポーツ振興、環境保全など、あらゆる課が関わっている。

○会長：

非常にいい取り組みだと思うのでぜひ続けてほしい。

(3) その他

次年度の予定について。

推進協議会は年間6回を予定。（具体的なスケジュール、内容については年度明けに提示とす

る。)

閉会